

# ソーラー&人力ボートレース 全日本選手権大会2005

SOLAR & HUMAN POWERED BOAT RACE

8/27<sub>(s a t. )</sub> - 28<sub>(s u n. )</sub>

開催場所：佐鳴湖漕艇場

日本ソーラー・人力ボート協会  
主管；ソーラー&人力ボートレース全日本選手権大会実行委員会

## 1. 大会の趣旨

地球にやさしい太陽エネルギーあるいは人力によって、自作の軽量で高性能なボートを思うままに走らせ競争させる中で、楽しみながら船作りや海に対する理解を深めていた抱くことを期待している。

## 2. 大会の内容

ソーラーボート部門・人力ボート部門・ハイブリッドボート部門を区別することなくレースを行い、表彰はソーラーボート部門クラスA、同クラスB、人力ボート部門クラスA、同クラスB、ハイブリッドボート部門の5クラスに分けて行う。

### ◎ ショートレース

予備選考として100m区間を任意のタイミングでスタートし、ゴールまでのタイムを計測する。そのタイム順に6艇づつが200m区間を走行して、そのタイムによって順位を競う。

### ◎ ロングレース

1周スラロームレース、30分耐久周回レース、1時間耐久周回レースの3つがある。

#### 1) 1周スラロームレース

2つのターンマークと5つの特設マークによって作られたコースを1周して順位を競う。

#### 2) 30分耐久周回レース

2つのターンマークと5つの特設マークによって作られたコースを30分間周回して、周回数を競う。

#### 3) 1時間耐久周回レース

2つのターンマークと5つの特設マークによって作られたコースを1時間周回して、周回数を競う。

以上2ジャンルの競技が、平成17年8月27日(土)から28日(日)までの2日間、佐鳴湖漕艇場を舞台に繰り上げられた。

いずれも小さなエネルギーを効率よく活用するために、ハイテクを駆使して軽量化を図ったり、動力伝達システムの工夫を凝らしている。参加形態は、企業内の有志グループ、大学・高校の研究グループ、ファミリー参加、単独参加等々さまざま、和気あいあいの大会が恒例である。

## 3. 開催者の構成

### ◇ 主 催

日本ソーラー・人力ボート協会

### ◇ 共 催

財団法人マリンスポーツ財団

### ◇ 後 援

国土交通省、経済産業省、文部科学省、環境省、  
静岡県、浜松市、湖西市、新居町、  
静岡県教育委員会、浜松市教育委員会、湖西市教育委員会  
財団法人浜名湖総合環境財団、湖西市観光協会、浜松商工会議所、  
社団法人浜松青年会議所、社団法人浜名湖青年会議所、  
独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、財団法人新エネルギー財団、  
社団法人日本中小型造船工業会、日本太陽エネルギー学会、  
社団法人静岡県モーターボート競走会、日本ソーラービークル協会、浜名湖ヨットクラブ、  
朝日新聞浜松支局、産経新聞浜松支局、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社、  
中日ショッパー、毎日新聞浜松支局、読売新聞浜松支局、  
株式会社テレビ静岡、あさひテレビ、株式会社静岡第一テレビ、  
テレビはままつ、K-MIX

◇ 協 賛

有限会社ケイズコア、社団法人静岡県モーターボート競走会、株式会社ジャパンプロモーション、中日新聞東海本社、中部電力株式会社、中村屋鮮魚販売株式会社、パナソニックストレージバッテリー株式会社、浜名湖競艇企業団、株式会社ヒューマンアロー、ヤマハ発動機株式会社、ヤマハマリン株式会社、ローランド ディー. ジー. 株式会社

◇ 大会役員

大会会長	堀内浩太郎(日本ソーラー・人力ボート協会)
大会副会長	金子光夫(財団法人マリンスポーツ財団)
大会実行委員長	八木正生(日本ソーラー・人力ボート協会)
大会実行委員会(構成メンバー)	日本ソーラー・人力ボート協会、財団法人マリンスポーツ財団、財団法人浜名湖総合環境財団、ヤマハ発動機株式会社 他
事務局	賀茂宏(ドラッグ・カモ)
総務部会	
総務部	関イチロー(浜松市議会議員)
広報部	岡村誠(財団法人マリンスポーツ財団)
審査部	戸田孝昭(財団法人舟艇協会)、増山豊(学校法人金沢工業大学)
競技部会	小池明成(社団法人静岡県モーターボート競走会)、丸尾猛、
競技部	内山敦(株式会社創輝)
海上部	堀内秀晃(財団法人浜名湖総合環境財団)
審判部	堀内秀晃(財団法人浜名湖総合環境財団)
計時記録部	内山敦(株式会社創輝)
運営部会	
会場部	山田光男(山長佃煮店)
運営部	八木正生(日本ソーラー・人力ボート協会)
記録部	小栗孝史(有限会社ケイズコア)
催事部	坂神文仁(株式会社ヒューマンアロー)

## ソーラーボート部門 クラスA

No	上:チーム名 下:船名	代 表 連絡担当	出身地 所 属	チームの概要
1	都田チャレンジ  WHITE HAWK S-10	松本 真芳 同 上	静岡県浜松市 同 上 スズキ(株)	がんばるぞー！
2	ローランドソーラー研究会  SOLAND	森藤 慎司 岡部 薫	静岡県浜松市 ローランド *ディール・ジー(株)	毎年参加のローランドソーラー研究会です。 今年は参加することに意義有りですががんばります。
3	TEAMビレッジトップ  クマちゃん1号	村上 正俊 同 上	静岡県浜松市 同 上	
4	JRCソーラーボート チャレンジの会 そうらのむべい2005	中村 常夫 松谷 博文	東京都三鷹市 同 上	海と船、そして太陽を愛する仲間達。

## ソーラーボート部門 クラスB

☆印:学生チーム

No	上:チーム名 下:船名	代 表 連絡担当	出身地 所 属	チームの概要
☆21	長崎総合科学大学夢の船 研究会(ソーラーボート部門) Solar ABA ABA 10	林田 滋 同 上	長崎市 同 上 長崎総合科学大学	卒業研究の仲間を中心としたチームです。今回は今までの結果を基に新型艇の開発を行いました。
☆22	Eco-ship project 2005 MD2005	勝浦 啓至 同 上	静岡市清水区 同 上	我々、Eco-ship-projectでは、高効率で走行できるボートを研究しています。
☆23	富山県立富山工業高校 電気研究部 ファルコン(falcon)	大橋 勇司 西脇 清史	富山市 同 上	
☆24	東海大学地球環境工学 ソーラーボートチーム トウカイスピリット3	梅原 智夫 同 上	静岡市清水区 同 上	4年生の卒業研究の一環として政索を行っている。3年前に製作した船体に昨年使用した二重反転プロペラを使用する予定であるがその他に2・3種類の長さのプロペラを用意してレースに合せて使用する予定です。
☆25	Shizuoka All-round Technology (静岡理工科大学ソーラーボート部) 潮風	伊藤 航 松澤 孝太	静岡県袋井市 静岡県袋井市 静岡理工科大学	
☆26	船舶海洋工学科 ソーラーボート レッツゴートシオマルII	辻内 祐樹 椿 真人	大阪吹田市 大阪府箕面市	
☆27	鳥栖工業高校 I MOTO I(モトワン)	堀田 健一 同 上	佐賀県鳥栖市 同 上 佐賀県立鳥栖工高	高校生のチームです。昨年は、先輩が学生の総合優勝を頂きました。今年は、昨年の船を改良し、さらに速くなりました。
☆28	鳥栖工業高校 II MOTO II			
☆29	Eco-ship project 2005 MD2004	勝浦 啓至 同 上	静岡市清水区 同 上	我々、Eco-ship-projectでは、高効率で走行できるボートを研究しています。
☆30	吉田山コケターズ 波に呑まれ	岡田 展明 同 上	京都市 同 上	

# 人力ボート部門 クラスA

☆印=学生チーム

No	上:チーム名 下:船名	代 表 連絡担当	出身地 所 属	チームの概要
41 ☆	長崎総合科学大学夢の船 研究会(人力水中翼部門)	野瀬 幹夫 同 上	長崎市 同上	卒研究生中心のメンバーです。長崎の海でトレーニングして来ました。今年も学生優勝をめざしてガンバリます！
42 ☆	Team BEN lab. WAKE UP	伊藤 佑造 荘司 明子	千葉県習志野市 同 上 日本大学 生産工学部	我が邊研究室は複合材料にかかわっています。そのため、ジュニアデザインという授業の一貫として製作を進めてきました。今年は2度目の出場です。設計・制作期間4ヶ月と言う強行日程の中、夏休み返上で何とか作りあげました。
43	チームコギト COGITO 05	堀内 俊介 同 上	静岡県浜松市 同 上	チーム結成15年。メンバーの高齢化を進むがまだまだ健在です。来年は新艇更新の予定。現コギトのラストランをとくにご覧あれ
44 ☆	Episode(忠南大学校) Episode # I	Kim, Jin-young 深町 得三	韓国太田市 忠南大学校 静岡県浜松市	昨年の韓国大会2位のチーム。韓国人力ボート界の最古参。教授1人と学生7名合計8名。ソウルの南東150Kmのテジョン市から参加。
45 ☆	Hae-Mir(釜山大学校) DOROTHY(ドロシー)	Yang, Ho-Ryoug 深町 得三	韓国釜山市 釜山大学校 静岡県浜松市	昨年度の韓国人力ボート大会優勝チーム。釜山国立大学校の学生と引率の先生総勢10名

# 人力ボート部門 クラスB

☆印=学生チーム

No	上:チーム名 下:船名	代 表 連絡担当	出身地 所 属	チームの概要
61 ☆	相川学園静清工業高等学校 「人力ボート研究会」 スカイフィッシュ2号	古池 弘夫 宮下 雄明	静岡県藤枝市 同 上 静清工業高校	本校3年生の課題研究「人力ボートの研究」を選択した生徒からなるチームです。昨年の不具合を改善し、今回の大会に挑戦します。
62	GLーラボ Ve-Scull 05	土井 厚 同 上	神奈川県横浜市 同 上	私たちは多くの足こぎボートと異り手こぎで参加します。人力をもっとも効率よく推力にできるのは手こぎの「層流槽」です。
63 ☆	愛知県立東山工業高等学校 東山救助隊	佐野 孝史 同 上	愛知県名古屋 同 上 愛知県立東山工高	今年で2回目の参加です。が、今年限りで本校設備工業科は閉科でなくなります。最後の参加となります。課題研究の一環で作りました。
64	TEAM MEW MEW 05	岡嶋 功 同 上	大阪府東大阪市 同 上	
65	湘南ドリームス フリッパー1(FLIPPER1)	横井 達郎 同 上	神奈川県逗子市 同 上	たった一人のチーム(チームではない)です。奇天烈なボートを作って持ち込みます。淡水は初めてですが、死ぬことはないだろうとたかをくくっております。
66	FRPが固まらんチーム グッピー	川上 伸一 同 上	大阪府高槻市 同 上	個人チームです。昨年の浜名湖大会では台風による高波でボートが浸水・転覆してしまいました。オープン形フロートには排水ポンプは必需品です。
67	FRPが固まらんチーム ラング	川上 伸一 同 上	大阪府高槻市 同 上	今年の大坂大会では水面で待機中に°ロペラ取付のナットが外れペラを落としリタイヤになってしまいました。トラブルには万全の策で望んでいるつもりですが、実走不足は毎年の課題です。
68	ひょうたん島 エスペラン	山本 豊彦 同 上	神奈川県伊勢原市 同 上	
69	吉田山コケターズ いちもくさんII	岡田 展明 同 上	京都市 同上	人力ボートが新しくなりました。 浮かない水中翼はこりました。

# ハイブリッドボート部門

☆印=学生チーム

No	上:チーム名 下:船名	代 表 連絡担当	出身地 所 属	チームの概要
91 ☆	船舶海洋工学科 ソーラーボートⅡ・秋水	辻内 祐樹 椿 真人	大阪府吹田市 大阪府箕面市	

# ソーラー&人カボートレース全日本選手権大会2005公式記録

No	チーム名	船名	ショートレース		ロングレース					
			200m		1Ro		30分		1時間	
			分 秒	順位	分 秒	順位	回	順位	回	順位
1	都田チャレンジ	WHITE HAWK S-10	52.75	3	4:57.24	2			9	3
2	ローランドソーラー研究会	SORAND	29.51	1	2:50.14	1			10	1
3	TEAMビレッジトップ	クマちゃん1号	DSQ	4						
4	JRCソーラーボートチャレンジの会	そうらのむべい2005	42.28	2					9	2
21	長崎総合科学大学夢の船研究会 (ソーラーボート部門)	Solar ABA ABA 10 (ソーラーアバアバテン)	40.69	2	4:05.83	1			9	1
22	Eco-ship project 2005	MD 2005 (仮)	01:16.1	5					6	6
23	富山県立富山工業高校電気研究部	ファルコン(falcon)	DNS	7				3	2	
24	東海大学地球環境工学 ソーラーボートチーム	トウカイスピリット3	01:24.2	6				4	1	
25	Shizuoka All-round Technology (静岡理科大学ソーラーボート部)	潮風	DSN	7	18:51.35	4				
26	船舶海洋工学科	ソーラーボート							7	4
27	鳥栖工業高校 I	MOTO I	01:08.5	4	4:46.45	2			9	2
28	鳥栖工業高校 II	MOTO II								
29	Eco-ship project 2005	MD 2004 (仮)	59.39	3					8	3
30	吉田山コケターズ	波に吞まれ	40.41	1	6:23.87	3			6	5
41	長崎総合科学大学夢の船研究会 (人カ水中翼部門)	West Gale 05	59.37	2	7:38.68	2	4	2	8	1
42	Team BEN lab.	WAKE UP	DSQ	4					DNS	2
43	チームコギト	COGITO 05	33.81	1	4:37.12	1	5	1		
44	Episode(忠南大学校)	Episode #1								
45	Hae-Mir(釜山大学校)	DOROTHY(ドロシー)	01:57.5	3						
61	相川学園静清工業高等学校 「人カボート研究会」	スカイフィッシュ2号	01:17.7	5	8:56.97	4	4	3		
62	GL-ラボ	Ve-Scoll 05	02:02.3	6	11:18.37	7			5	5
63	愛知県立東山工業高等学校	東山救助隊	06:04.3	9						
64	TEAM MEW	MEW 05	01:08.1	1	8:03.89	1	5	1	8	1
65	湘南ドリームス	フリッパー1 (FLIPPER1)	03:14.5	8	15:18.25	8				
66	FRPが固まらんチーム	グッピー	01:24.0	7	10:15.21	6	4	2	7	3
67	FRPが固まらんチーム	ラング	01:11.3	4	9:53.48	5			7	2
68	ひょうたん島	エスペラン	01:17.8	2	8:39.50	3	4	4		
69	吉田山コケターズ	いちもくさんII	01:08.1	3	8:38.82	2			6	4
91	船舶海洋工学科	ソーラーボートII	01:38.2	1	12:55.07	1			DNF	1

学生優勝 ソーラーボート部門 長崎総合科学大学夢の船研究会(ソーラーボート部門)  
人カボート部門 長崎総合科学大学夢の船研究会(人カ水中翼船)

特別賞 Hae-Mir(釜山大学校)  
湘南ドリームス